

ISO通信 第1号

2023.7.20 発行
太田市立毛里田中学校
ISO 委員会

学校 ISO は太田市立の全ての学校において、ISO の国際基準に沿った目標を定め、実践しています。主に次の4つが活動の中心になります。①日常生活における環境活動(エコ活動)、②授業における環境教育、③学校の環境設備の適正管理、④実態把握と啓発活動

この ISO 通信は、④の啓発活動の一環です。今回は、エコ活動に焦点をあてて毛里田中の活動を紹介します。

* * *

① 生徒会 ISO 委員会の活動

2週間ごとに各学年の ISO 委員が交代で、全校にアルミ缶の回収を呼びかけ、回収し、数量を記録して右の倉庫に納めています。合わせて学校で使用済みの段ボールを職員室横の保管場所から武道場西の倉庫へと運搬しています。倉庫にあるアルミ缶は一定時期を経て業者に引き渡され、現金化しています。今年度も時期をみてご報告致します



↑ リサイクル倉庫

② 職員による資源の有効活用（電気、水道、燃料等）

今回は用紙使用量の成果を発表させて下さい。授業の教材や事務で最も使われるのは A4 用紙です。この3年間 A4 原稿を印刷する際は、印刷機の連写機能を使い A3 の用紙に A4 2枚分を印刷し、それを切断機で分断して使用することで製版マスター(インク紙)の節約と時間の効率、なにより A4 の用紙の削減に繋がりました。



数を数えて処理する ISO 委員

使用量	年間枚数
令和2年度の使用量	427,000枚
令和3年度の使用量	424,500枚
令和4年度の使用量	403,000枚

A4用紙の使用量の変遷

職員、生徒
保護者一体となつての
環境活動です！

③ PTA 親子奉仕作業



6月4日(日)PTA 親子奉仕作業が実施されました。学校だよりも掲載されました。環境美化という意味もありますが、空き缶やゴミの回収は、環境が金属等により汚染されることを防止することにも繋がります。皆さん、ご苦勞様でした。